

国際的な税務ガバナンスへの取組みとは？

味の素のグローバル・ タックス・マネジメント

最重要なグループポリシーの構成要素

第1章

グローバル・タックス・ポリシーの
策定背景と概要

より「血の通った」ものとするために

第2章

ポリシー浸透の取組みと
さらなる深化の方向性

味の素(株)
グローバル財務部長

水谷 英一

味の素(株)
グローバル財務部税務グループ長

豊田 周悟

味の素(株)
グローバル財務部シニアマネージャー

柴田 邦弘

外国企業との合併やアウトバウンドM&Aを含め、企業のグローバル展開が一般的となっている一方で、国際間あるいは各国それぞれの税制は複雑化しており、海外子会社を含む税務ガバナンス体制構築の必要性は日に日に高まっている。

そのようななか、今回、海外にも広く事業展開する味の素(株)のグローバル財務部の方々に、同社のグローバル・タックス・マネジメントの要諦についてご寄稿いただいた。いち早くグローバル・タックス・ポリシーを策定し、その実効性を高めていくための取組みを続ける同社。ぜひ参考にさせていただきたい。